

特定非営利活動法人都岐沙羅パートナーズセンター

平成 28 年度事業報告及び決算報告

I 平成 28 年度事業報告

【特定非営利活動に係る事業】

1. 住民活動支援事業

1-1 住民活動支援窓口の開設（自主事業）

事業区分：自主事業

実施期間：平成 28 年 7 月～平成 29 月 6 月

内 容：岩船地域内における住民活動に関する各種支援（相談・仲介・情報提供等）窓口の開設。

【実施概要】

朝日道の駅みどりの里内にある「グリーン・ツーリズム推進施設（旧バイオテクノロジー研究施設）」にて、活動相談、情報提供、会議室の貸し出し、各種問合せ対応などの住民活動支援を実施。

【実績（センター利用件数）】 ※ 過去との比較のため旧事業年度（4 月～翌年 3 月）で集計・比較

1 年間の利用件数は 848 件（前年比 12 件減）、利用者数 1,069 人（同 12 人増）であり、ほぼ前年と同水準であった。相談・問合せ件数については、前年比で 26 件減少（76 件（H27）→ 50 件（H28））しているが、その分 E メール・電話等による問合せ・相談は増加傾向にあり、全体で大きく減少した訳ではない。

【所 見】 大きく回復した前年度と同水準を維持している。

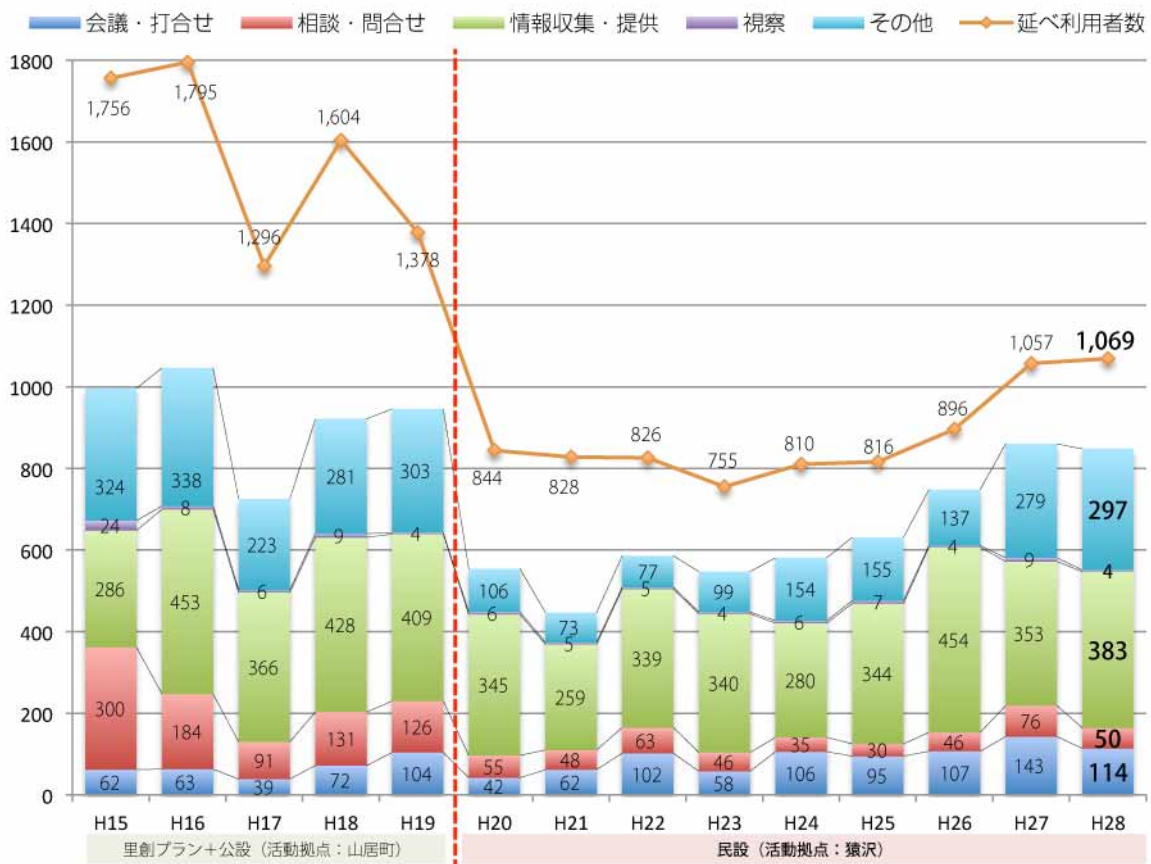


図 都岐沙羅パートナーズセンター利用件数・人数の推移

1-2 街なか拠点の運営協力（自主事業）

- 【事業期間】 平成 28 年 7 月～平成 29 年 6 月
- 【内 容】 (株) 富樫工務所との協働により、村上市鍛冶町にあるモデルハウス「木くぼりの家」を、市民団体が気軽に利用できる活動スペースとして提供する仕組みを構築。
- 【実施概要】 両者の中で「賃借料は無償」「光熱費は実費負担」「(株) 富樫工務所の業務(モデルハウスの見学)に支障が無ければいつでも使用可(原則 8～21 時)」「住民活動支援及び各種イベントでの利用」という内容で協定を締結。利用の受付・鍵の管理は、都岐沙羅パートナーズセンターが担当。
- 【実 績】
- | | | |
|-------|----------------------------|-----------------------------|
| 利用者数 | のべ 1,875 人 | (H27: 1,874 人← H26: 817 人) |
| 利用団体数 | 11 団体 | (H27: 15 団体← H26: 6 団体) |
| 利用回数 | 119 回 | (H27: 130 回← H26: 67 回) |
| | ※H28: うち 26 回は都岐沙羅 P C で利用 | |
| 利用目的 | コミュニティスペース | 36 回 (H27: 37 回← H26: 19 回) |
| | 各種教室 | 29 回 (H27: 22 回← H26: 12 回) |
| | イベント開催 | 34 回 (H27: 36 回← H26: 7 回) |
| | 会議 | 16 回 (H27: 12 回← H26: 4 回) |
| | サークルでの利用 | 1 回 (H27: 7 回← H26: 2 回) |
| | 視察対応 | 2 回 (H27: 0 回← H26: 2 回) |
| | その他 | 1 回 (H27: 16 回← H26: 21 回) |
- 【所 見】 前年度と同水準の利用があり、気軽に利用できるコミュニティスペースとして定着した。



1-3 村上市若者チャレンジ応援プロジェクト（委託事業：村上市）

- 【事業期間】 平成 28 年 7 月～平成 29 年 6 月
- 【事業概要】 村上市に在住・在勤する若者の集う場づくりをすることで、若者が語り合い、交流し、仲間づくりをする機会を創出し、若者の交流、人材育成、婚姻や定住の促進を目指す。
- 【開催実績】 おしゃべり Cafe（テーマ設定：無）：10 回開催
マジ Cafe・スキルアップ Cafe（テーマ設定：有）：3 回開催
チャレンジプロジェクト：4 事業・7 プログラム実施
- 【実 績】 おしゃべり Cafe：参加者延べ 379 人（純利用者数：69 人）
チャレンジプロジェクト：参加者延べ 69 人
- 【所 見】 おしゃべり Cafe 参加者に特別な支援が必要な参加者の割合が増加。障がいを抱えた方や引きこもりの方など、他に行き場所のない若い人たちが居場所を求めて参加する傾向が強くなったものの、運営側のフォローアップ体制構築が追いつかず、全体的には利用者数が減少となった。今後は福祉関係の他機関と連携しながら対応を進めていく予定。また地域で活躍する若い人たち



を育てるため、目的をはっきりさせた企画を増やし、想いを持つ若者の発掘、育成を効率的に行えるような仕組みづくりに取り組んでいる。

2. コミュニティビジネス支援

28年度においては、特に実施せず。

3. 地域ツーリズムの開発・プロモーション

3-1 村上地域グリーン・ツーリズム協議会事務局の運営（事業協力）

朝日みどりの里にある朝日グリーン・ツーリズム推進施設（旧バイオテクノロジー研究施設）にて、官民協働で設立した「村上地域グリーン・ツーリズム協議会」の事務局を運営。各種会議の連絡調整・対外的な連絡窓口を担った。

（内容） 総会・幹事会等の運営、協議会の事務・経理作業
朝日グリーン・ツーリズム推進施設の管理

3-2 村上グリーン・ツーリズム協議会事業の実施（事業協力）

村上地域グリーン・ツーリズム協議会の平成28年度事業について、全事業の企画・調整・コーディネートを担当した。



【実施概要】

1) 地域PRイベント

(1) 銀座はさ掛けイベントの開催

【実施日】 平成28年9月8日（木）

【場 所】 東京都中央区銀座

【参画者】 15名

【参加者】 61人

【内 容】 銀座ミツバチ交流イベント 『酒米はさがけ体験&村上の食を楽しむ』
▷銀座松屋通にて、はさ掛け（酒米五百万石）を実施
▷村上食材を使った交流会 & 物産販売（参加者：61名）

(2) 銀座はさ掛け撤収&新潟村上秋の味覚と共に秋の日本酒を味わう

【実施日】 平成28年9月22日（木・祝）

【参画者】 6名

【参加者】 38人

【内 容】 ①元麻布農園交流イベント

▷おしゃれなシェアハウスと農園が一体となった農園付き住居にて、村上
食材、地酒を振る舞うイベントを開催
②銀座はさ掛け撤収作業

(3) 2016 元麻布農園交流イベント & 新嘗祭体験イベント

- 【実施日】 平成 28 年 11 月 22 日 (火) ~ 23 日 (水・祝)
- 【場 所】 東京都港区六本木
- 【参画者】 6 名
- 【参加者】 約 600 人
- 【内 容】 ふるまい、物産販売により地域の PR



(4) 東京油田における PR イベントの開催
2016 油田・村上「餅でくつつき、のびる縁
~もち振る舞い&村上酒蔵巡り in 東京油田~」

- 【実施日】 平成 28 年 12 月 10 日 (土)
- 【場 所】 東京都墨田区・油田モール
- 【参画者】 3 名
- 【参加者】 約 300 人
- 【内 容】 物産販売物、餅のふるまい



(5) 城下町・村上「大人の遠足」魅力発見ワーク
ショップ&交流ナイト

- 【実施日】 平成 29 年 3 月 7 日 (火)
- 【場 所】 東京都千代田区大手町
- 【参画者】 6 団体
- 【内 容】 村上地域の観光プレゼンの後、ワークショップでツアーを検討。その後、村上地域の食材を味わってもらった。



2) 受け入れ研修等

(1) 東北教育旅行セミナーへの参加

- 【実施日】 平成 28 年 7 月 29 日 (金)
- 【場 所】 東京都品川区 (グランドプリンスホテル新高輪)
- 【参加者】 1 名
- 【内 容】 講演会、旅行代理店との情報交換会

(2) 学校と地域を結ぶオープンセッション子供体験
の開催

- 【実施日】 平成 28 年 8 月 3 日 (水)
- 【場 所】 村上市総合文化会館
- 【参画者】 6 団体
- 【参加者】 市内小学生 50 名
- 【内 容】 くるみボタンづくり、まゆクラフト、おやつづくり等

(3) 自然体験活動指導者養成講習会の開催協力 & 参加

- 【実施日】 平成 28 年 12 月 1 日 (木) ~ 4 日 (日)
- 【場 所】 朝日みどりの里交流センター
- 【内 容】 自然体験インストラクターの養成講座の開催及び運営協力

【参加者】 3名

【成果】 協議会から3名が参加者して資格を取得

(4) 学童のインバウンド受け入れ現地視察研修会への参加

【実施日】 平成28年12月6日(火)～7日(水)

【場所】 長野県上田市

【内容】 受け入れ農家・現場の視察 講演会、意見交換会

【参加者】 1名

【所見】 地域の食を活かして誘客宣伝・プロモーション活動を都内で継続的に展開したことで、人と人との繋がりができてきた。その中で村上岩船地域に来訪して戴く機会も増えてきた。今後も交流を深め、来訪してくれる人が増えるようなPRを展開したい。教育旅行受け入れ体制を作るため、自然体験活動インストラクター養成講座が開かれ、当地域のインストラクターが13名になった。平成29年度はインバウンドのモニターツアー受け入れが予定されていて、受け入れ整備が急がれる。

3-3 朝日まほろば夢農園管理事業 (委託事業：村上市／朝日まほろば夢農園管理組合)

都市住民との交流促進を目的に、村上市が朝日みどりの里内に開設した貸し農園(クラインガルテン)について、その管理運営を支援。

【実施期間】 平成28年7月～平成29年6月

【実施概要】 ①農園の利用者及び組合員への広報業務

▷夢農園プレス(11回発行)

▷ホームページの更新

②農園利用者及び組合員の交流企画

▷年3回の交流イベントを企画・コーディネート(納涼祭・収穫祭・開園式)

③栽培講習会の開催

▷年1回の講習会の企画・コーディネート

④組合員の視察研修のコーディネート

⑤夢農園事務局業務(窓口・経理・イベント業務)

【実績】 夢農園年間利用者数：のべ350人・交流イベント参加者数：のべ79人



3-4 H28 地域活性化モデル事業・出羽街道散策マップ (仮称) 原稿作成業務 (委託事業：新潟県村上地域振興局)

【事業期間】 平成28年7月～平成28年11月

【内容】 出羽街道における距離や時間、駐車場等の情報を分かりやすく発信するための観光マップを作成するにあたり、関係者を集めて検討委員会等を行い、マップに掲載する原稿資料の収集やマップの形式等をまとめる。

【実施概要】 検討委員会4回開催、マップ原稿の作成

【成果】 「出羽街道ウォーキングマップ」の作成



4. 地域づくり事業のコーディネート

4-1 学校と地域を結ぶオープンセッション（事業協力：村上市教育委員会）

【事業期間】 平成 28 年 7 月～9 月

【内 容】 学校と地域の様々な知識や技能を持った人々が、情報交換することにより地域のみんなで子供達を育てる体制づくりを目指す事を目的に、学校関係者と地域の方々が一堂に会し情報交換を行う。

【実施概要】 開催日時 平成 28 年 8 月 3 日（水） 9：30～16：00

会 場 村上市総合文化会館・全館

内 容 ①子どもあそびひろば：小学生向け体験コーナー（参加者 58 名）
②学校、地域団体、社会教育団体各方面からの活動事例発表
③学校関係者と地域団体の交流会（地域団体紹介、ブース訪問）

【実 績】 地域団体 25 団体（35 名）／学校関係者（136 名）

子どもあそびひろば：58 人

【所 見】 午前中開催の「子どものあそび広場」も多くの子供たちが参加してくれるようになり、子供の夏休み体験として定着し始めている。またオープンセッションを 12 回継続したことで学校と地域の連携がますます進んできた。先生は転勤等があるので、継続してこのような機会を設けていくことが必要。



4-2 青少年森林林業体験塾・企画運営（委託事業：新潟北部地域林業振興協議会）

【事業期間】 平成 28 年 7 月～平成 28 年 9 月

【実施概要】 開催日時 平成 28 年 8 月 18 日（木）～19 日（金）

内 容 林業に関心を持ってもらい、林業の就業者を増やすため、高校生を対象とした 1 泊 2 日林業体験合宿を実施。森林に関する講義や間伐体験、高性能林業機械作業体験、製材工場見学等、普段目にする機会のない現場で林業を体感してもらえるプログラムを多数盛り込んで実施。

【実 績】 参加者 15 名

【成 果】 参加者のうち 4 名が林業関連の職種に就職

【所 見】 村上岩船地域以外からも林業関連会社へ就職を希望している高校生が参加するなど、地域外からの反響も大きかった。またテレビ取材が入ったことで、村上の林業が盛んであることを PR することもできた。参加者のうち 4 名が林業関連の職種に就き、着実に成果が上がっている。



4-3 村上市林業チャレンジ体験（委託事業：新潟北部地域林業振興協議会）

【実施期間】 平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月

【内 容】 村上市内の林業事業者に対するアンケート調査及び村上市の林業を PR するための林業体験イベントの実施。

【事業概要】 ①市内の林業事業者に対し、現在の雇用状況や今後の新規採用予定など労働力についてのアンケート調査を実施。
②素材生産から製材・加工まで扱う様々な事業者への見学会・作業体験ツアーを開催。

【実績】 参加者 25 名（10 代～60 代まで幅広い年齢層が参加）

【所見】 村上市内の林業の担い手が高齢化していることが数字としてはっきり分かった。それに対して新規採用の計画は限られており、今後、林業の担い手育成が急務であることが改めて確認できた。体験を通して、多世代の参加者が林業について持つマイナスのイメージを変えるきっかけになった。



4-4 地域人材育成業務（委託事業：村上市）

【事業期間】 平成 28 年 7 月～平成 29 年 6 月

【内 容】 ①協働情報誌「むらかみ元気マガジン」の作成（年 3 回）

②村上市内 17 まちづくり協議会の平成 28 年度の活動状況を分析し、レポートを作成する。

③まちづくり協議会を対象にした地域づくりに関する講座及び研修会等の実施。

【実施概要】 ①平成 28 年 7・11 月・平成 29 年 3 月の計 3 回「むらかみ元気マガジン」を発行。

② 27 年度の各まちづくり協議会活動を整理・分析し、レポートを作成。

③各まちづくり協議会の意向を踏まえ計 7 回実施。

(1) 村上地域まちづくり協議会

日 時：平成 28 年 11 月 10 日（木）13:30～16:00

会 場：村上市役所 4F 会議室

参加者：村上地区の区長及び地区内の市議会議員等 約 50 名

内 容：平成 28 年度村上地区区長会・秋研修にて、村上小学校の子どもたちによる提案発表&意見交換会及びまちづくり計画（町内支援補助）に関する意見交換会をワークショップ形式で実施。

(2) 上海府地区町づくり推進委員会

日 時：平成 29 年 1 月 31 日（火）19:00～21:00

会 場：上海府地域コミュニティセンター会議室

参加者：役員・理事・部会員・市職員等 約 30 名

内 容：地域の現状や小規模多機能自治に関する講演会&意見交換会

(3) あらかわ地区まちづくり協議会

日 時：平成 29 年 1 月 22 日（日）13:30～15:30

会 場：荒川支所 2F 会議室
参加者：代議員・役員・部会員・市職員等 約 20 名
内 容：地域の現状や小規模多機能自治に関する講演会&意見交換会

(4) 神林地区 5 協議会

日 時：平成 29 年 2 月 19 日（日）13:30～16:00
会 場：神林農村環境改善センター（多目的ホール）
参加者：地区内の 5 協議会運営委員・市職員 約 50 名
内 容：地域の現状や小規模多機能自治に関する講演会&意見交換会

(5) 朝日地区 5 協議会（1 回目）

日 時：平成 28 年 11 月 27 日（日）14:30～16:00
会 場：村上市総合文化会館 公民館ホール
参加者：各協議会の役員等 約 20 名
内 容：地区の現状に関する講演会

(6) 朝日地区 5 協議会（2 回目）

日 時：平成 28 年 12 月 15 日（木）19:00～21:00
会 場：朝日支所 2F 会議室
参加者：各協議会の会長、副会長、事務局長、部会長 約 40 名
内 容：計画見直しに向けた意見交換会（ワークショップ）

(7) さんぽく地区まちづくり協議会

日 時：平成 29 年 3 月 12 日（日）13:30～16:30
会 場：さんぽく会館
参加者：地区住民 約 50 名
内 容：協議会が主催する「地域づくり楽習会 in さんぽく」にて、地区の現状に関するミニ講演会及び意見交換会（ワークショップ）



- 【所 見】
- ①むらかみ元気マガジンは「集いの場」「まちづくり協議会自慢大会」「データから読み解く地域」というテーマでの情報を掲載。あまり情報発信されていない地域活動をピックアップして掲載することや、地域の現状を数字で表し、住民 1 人ひとりの意識を高めるきっかけになるよう意識した。
 - ②まちづくり協議会活動報告書はこれまで 4 年分の報告書を作成。積立基金を活用し拠点整備を行うなど大きな取り組みを実施する協議会もあり、積み重ねてきたデータにより活動の変化を可視化することができた。
 - ③ 28 年度より各まちづくり協議会へのサポート業務が新たに加わった。協議会側は財政負担なしで、気軽に当方への支援依頼できるようになったため、様々な相談・依頼が来るようになった。協議会の中には、さらなる支援拡充を求める声もあったことから、委託事業における支援枠を拡大して、新年度は実施していく予定である。

4-5 第3回「岩船米」品質食味コンテスト（委託事業：新潟県村上地域振興局）

【事業期間】 平成28年8月～平成29年1月

【内 容】 第3回「岩船米品質食味コンテスト」に関わる広報と1次審査、予備審査、本審査での審査作業補助。

【所 見】 参加者募集チラシを関川村報・村上市報に挟み込み、周知を行った。昨年よりも11件多い55件の応募があった。本審査会が鶏インフルエンザが流行の影響を受け延期になったが、無事開催することができた。新品種「新之助」の特徴の説明や試食も行われ、農業分野を盛り上げていく取り組みについて知ることができた。



4-6 2016 にいがたワーク&ライフフォーラム（委託事業：（一財）新潟ろうきん福祉財団）

【事業期間】 平成28年7月～平成29年3月

【内 容】 連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて行われている「2016 にいがたワーク&ライフフォーラム in 新発田」の開催支援。

【実施概要】 開催日：平成28年9月24日（土）～25日（日）

会 場：新発田市内

内 容：参加者同士の意見交換プログラム「まちカフェ」及び新発田市内のまち歩きプログラムを実施。また、各種印刷物の製作と全体報告書の編集・印刷も実施。

【実 績】 参加者数約250人

【所 見】 職種の異なる250名ほどの参加者の方とともに「20年後の地域社会を見据えて今私たちが取り組まねばならないこと」というテーマでまちカフェを行った。様々な立場の人が入り混じりながら、現在地域が抱える課題や、それに対して自分に何ができるのか話し合う機会となった。このような場がなければ話しをする機会もない人同士がつながるきっかけともなった。



4-7 小規模多機能自治に関する市町村担当者向けセミナー業務（委託事業：新潟県地域政策課）

【事業期間】 平成28年9月～11月

【内 容】 小規模多機能自治に関する市町村・地域振興局職員向けの研修会の開催

【事業概要】 開催日：平成28年月18日（火）10:00～15:30

会 場：新潟県建設会館5階会議室

内 容：小規模多機能自治についての講演（講師：川北秀人氏）

県内3自治体での地域組織支援の取り組み発表&意見交換会

- 【実績】 参加者 61 人
 【所見】 小規模多機能自治（住民自治の進化）の必要性について、市町村職員への理解浸透を促す貴重な機会となった。また、村上市で展開しているまちづくり協議会の取り組みの先進性を、県内市町村に大きくPRすることができた。



4-8 大槌町コミュニティビジネス実践塾企画運営業務（委託事業：岩手県大槌町／（株）邑計画事務所）

- 【実施期間】 平成 28 年 7 月～平成 29 年 3 月
 【内 容】 岩手県大槌町において、コミュニティビジネスを生み出すための講座の企画・運営。
 【実施概要】 大槌町にて講座（計 4 回）を通じて具体的な CB の企画を立案し、その実験プロジェクトを実施をサポート（企画会議 2 回／実験プロジェクト・報告会への参加）
 【成 果】 地域の食を楽しむプログラム（大槌版・大人の夜学）が新たに誕生した。また、民間独自の子育て支援プログラムも生まれ、継続開催されるようになった。
 【所 見】 都岐沙羅流の CB 育成術を大槌町で展開。具体的なアクションを生み出すことができた。東日本大震災の復興支援については、引き続き可能な範囲で実施していきたい。



4-9 大毎集落・地域の話し合い促進事業（委託事業：新潟県地域政策課）

- 【実施期間】 平成 28 年 7 月～平成 29 年 3 月
 【内 容】 新潟県が実施する「地域の話し合い促進事業」の採択を受け、大毎集落における住民同士の話し合いの場の企画運営。
 【実施概要】 ①中学生以上の全住民アンケートの実施（集計・分析を担当）
 ②アンケート結果報告会&意見交換会の実施（計 8 回）
 【成 果】 高いアンケート回収率（約 78%）ときめ細かな意見交換（世代別男女別に実施）により、住民意識がかなり明確に浮かび上がった。この結果に基づき、集落づくりの次の方向性も見えた。
 【所 見】 少子高齢化が進む集落において、お手本となる事例を生み出すことができた。また、支援者としても大変貴重なノウハウを蓄積することができた。大毎集落での実施がきっかけとなり、現在、地域内各地で同様の取り組みが誘発されている。



4-10 小さな拠点及び地域運営組織の普及啓発事業（委託事業：内閣府／ランドブレイン（株））

- 【実施期間】 平成 29 年 1 月～平成 29 年 3 月
- 【内 容】 国が進める「小さな拠点・地域運営組織」の形成拡大を目的に、地域で実施される研修会等への専門家派遣や、中間支援者のネットワーク形成のための研修会等の実施。
- 【実施概要】 ①新潟・山形・秋田 3 県で実施される地域運営組織に関する勉強会・研修等への専門家派遣を実施。
- ②新潟・山形・秋田 3 県で活動する中間支援組織の関係者が集い、相互の情報・意見交換会「東北日本海エリア中間支援ネットワーク会議」を開催。
開催日：平成 29 年 3 月 14 日（火）14:00～18:00
会 場：朝日体験交流センター
- 【実 績】 専門家派遣件数：12 件（新潟 8 件、山形 2 件、秋田 2 件）
情報・意見交換会参加者数：13 団体／23 名
- 【所 見】 小さな拠点・地域運営組織の形成拡大にあたっては、中間支援組織が果たすべき役割はととも大きい。こうした取り組みは、引き続き積極的に実施していく。



4-11 総合学習支援（事業協力：村上中等教育学校）

- 【事業期間】 平成 28 年 11 月～平成 29 年 2 月
- 【内 容】 村上中等教育学校 5 年生（高校 2 年生に相当）の総合学習において、地域と連携した授業を実施したいという学校側の要望を受け、授業を企画・実施。
- 【実施概要】 各分野で地域を元気にする人たち 6 名に協力を依頼し、生徒自らがインタビューや取材を行いながら、「地域の人たちの仕事への想い」を伝えるイメージポスター及び PR 動画を作成する授業を全 5 回実施。
- 【所 見】 一連の授業を通じて、生徒達の地域を見る目・見方が大きく変化した。今年度で 3 年目となり着実に定着。学校・地域側ともに大変好評である。4 年目となる H29 も実施が決定。動き出しが早まり、学校の文化祭での発表会も行う予定である。



4-12 住民自治の進化を促す白書の作成及び研修会の実施(助成事業:(一財)新潟ろうきん福祉財団)

【事業期間】 平成 28 年 7 月～平成 29 年 6 月

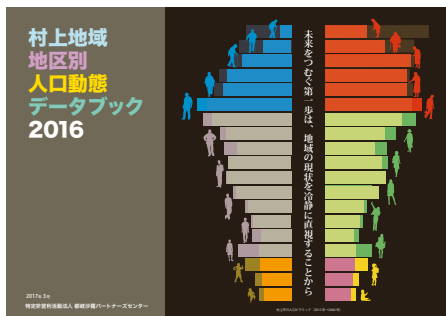
【内 容】 村上市及び関川村について、地区単位で人口減少・少子高齢化の現状を可視化し、それを踏まえた研修会を実施。

【実施概要】 (1) 村上地域・地区別人口動態データブック 2016 の作成

①先進事例調査の実施

②村上市・関川村の人口構成(現状&将来予測)を 26 地区別に分析

③説明用資料及びデータブックの作成



(2) 地域の現状認識と住民自治の進化を促す「学びの場」の企画・実施

①自慢大会形式での研修会の企画・実施

開催日時：H28 年 8 月 11 日(木・祝) 14:30～17:00

内 容：まちづくり協議会が実践した取り組みを会場参加型で深掘りし、お互いに学びあうスタイルの研修プログラム。

参加者数：約 150 人



②地域組織・行政職員向け研修会の実施

開催時期：H28 年 6 月～H29 年 2 月

内 容：各地区ごとの人口構成の現状と将来予測を解説すると共に、小規模多機能自治の先進事例を紹介。

参加者数：のべ約 100 人

【成 果】 ○研修会への講師派遣 : 15 件／のべ参加者数約 400 人

○話し合いへの講師派遣 : 6 組織／のべ 15 回

○住民アンケートの実施を計画 : 15 組織

○研修会を計画 : 6 組織

※ 上記は各組織が独自に予算を確保して取り組んだ(あるいはこれから取り組む)もの。

【所 見】 本事業をきっかけに行政・地域組織の双方が「住民自治の進化」の必要性を強く認識し、独自に予算を確保して取り組みを加速させる動きが顕著に現れた。

5. 商品開発・販路開拓支援

5-1 販路開拓支援 ～村上地域の逸品を広めるための卸・仲介～（自主事業）

【事業期間】 平成 28 年 7 月～平成 29 年 6 月

【内 容】 大都市圏の事業者等からの依頼に応じ、村上地域のワンストップ窓口となつて村上地域の物産の卸・仲介を行うことで、地域産品の販路開拓を支援する。

【実施概要】 ①千葉県柏市の柏ビレジで活動する NPO 法人ビレジサポートと協働し、同団体が買い物弱者支援として定期的に行っている販売会に対し、村上地域内の物産を卸す。
②大都市圏の事業者の依頼を受け、村上地域の複数事業者の物産をとりまとめて卸す。

【実 績】 H28 年度取引額：113,967 円

【所 見】 本格的な取引の前段階としての「お試し取引」として実施。依頼を受け、複数事業への発注・品物のとりまとめ・共同配送を行う地域側のワンストップ窓口の役割を果たしている。

6. 情報発信事業

6-1 インターネットによる情報発信（自主事業）

●ブログ（つきさらの元気ななかまたち（<http://blog.canpan.info/tsukisara/>））

記事更新：49 件（月平均 4 件）

訪問者数：6,307 人

ページビュー：39,565 件

●SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）

<都岐沙羅パートナーズセンターの facebook ページ>

いいね！件数 780 件（前年比+ 155 件）

<おしゃべりC a f e の facebook ページ> ※平成 26 年 12 月 3 日より運用開始

いいね！件数 288 件（前年比+ 42 件）

<おしゃべりC a f e の Twitter アカウント> ※平成 26 年 12 月 3 日より運用開始

フォロワー数 404 件（前年比+ 36 件）

<おしゃべりC a f e の L I N E アカウント> ※平成 27 年 3 月 3 日より運用開始

友達数 57 人（前年比+ 26 人）

7. 講師派遣・視察受入

1) 視察受入

28 年度の視察等の受入実績は以下のとおり。

	受入日	訪問者	人数	備考
1	H28.07.01	地域資源発掘 ASAA	3	有償
2	H28.11.01	氷見市自治振興委員連合会	20	有償
3	H28.11.14	地域再生大賞・選考委員現地視察	3	ヒアリング対応
4	H28.12.10	糸魚川市西海地区	20	有償
5	H29.04.14	新潟財務局ヒアリング対応	3	ヒアリング対応

2) 講師派遣

28年度の団体としての講師派遣実績は以下のとおり。

	派遣日	派遣内容	派遣者
1	H28.07.05	山の暮らし再生機構・研修会	斎藤
2	H28.07.21	村上ニナイテ講座	斎藤
3	H28.08.20	村上ニナイテ講座	斎藤
4	H28.09.08	最上小国川清流未来振興機構・事業コンサルティング	斎藤
5	H28.10.09	魚沼市堀之内コミュニティ協議会・研修会	斎藤
6	H28.10.20	関川村・職員研修	斎藤
7	H28.10.28	ろうきん加茂支店・講演会	能登谷
8	H28.11.02	日本都市計画家協会・まちづくりカレッジ	斎藤
9	H28.11.02	国土交通省国土情報課・研究会	斎藤
10	H28.11.09	山の暮らしサロン	佐藤
11	H28.11.09	ろうきん村上支店・講演会	斎藤
12	H28.11.12	神納地域まちづくり協議会・研修会	斎藤
13	H28.11.15	関川村・地域コミュニティ研修会①	斎藤
14	H28.11.17	関川村・地域コミュニティ研修会②	斎藤
15	H28.11.19	札幌市地域まちづくり人材育成講座	斎藤
16	H28.11.24	関川村・地域コミュニティ研修会③	斎藤
17	H28.11.25	最上小国川清流未来振興機構・ワークショップ	斎藤
18	H28.12.19	蒲萄スキー場・職員研修	佐藤
19	H29.01.24	最上小国川清流未来振興機構・事業コンサルティング	斎藤
20	H29.02.06	たかねまちづくり協議会①	斎藤
21	H29.02.07	神林支所・職員研修	斎藤
22	H29.02.13	たかねまちづくり協議会②	斎藤
23	H29.02.26	神納東地域まちづくり協議会・研修会	斎藤
24	H29.03.03	最上小国川清流未来振興機構・ワークショップ	斎藤
25	H29.03.04	あらかわ地区まちづくり協議会・ワークショップ	斎藤
26	H29.03.06	平林地域まちづくり協議会・研修会	斎藤
27	H29.03.09	村上岩船ロータリークラブ・卓話	能登谷
28	H29.03.22	やまぐち県民ネット・研修会	斎藤
29	H29.03.25	札幌市地域まちづくり人材育成講座	斎藤
30	H29.05.14	清流会・講演会	斎藤
31	H29.05.23	市町村職員中央研修所・研修	斎藤
32	H29.06.15	にいがた旬塾 2017（上越市開催）	斎藤
33	H29.06.22	にいがた旬塾 2017（胎内市開催）	斎藤
34	H29.06.28	大分県日田市・議員研修会	斎藤

【その他事業】

1. 物販事業

事業区分：自主事業

実施期間：平成 28 年 7 月～平成 29 年 6 月

内 容：書籍委託販売を実施

実 績：ソシオマネジメント 3 号：4 冊販売

【NPO 法人の運営】

1. 理事・事務局スタッフの活動

1) 講演・講師 (11 件)

H28/07/01 金屋小学校ワークショップ (佐藤・能登谷)

H28/07/24 大毎集落・小規模多機能自治研修会 (斎藤)

H28/08/07 みらいずスクール・事例発表 (斎藤)

H28/10/16 ドリーム 100 プロジェクト講師 (斎藤)

H28/10/24 しばた若者応援フォーラム講師 (大滝)

H28/11/12 燕市まちづくり自慢大会・講師 (斎藤)

H28/11/27 ドリーム 100 プロジェクト講師 (斎藤)

H29/01/19 ドリーム 100 プロジェクト・山北中学校アンケート報告 (斎藤)

H29/02/05 ドリーム 100 プロジェクト講師 (斎藤)

H29/03/01 小規模多機能自治推進ネットワーク会議・研修会 (斎藤)

H29/03/24 山形県・協働の地域づくり推進事業・NPO 法人研修会 (斎藤)

2) 委員会・会議出席 (75 件)

H28/07/08 新潟県地域政策課・地域づくりに関する意見交換会 (斎藤)

H28/07/12 ふるさとづくり大会・実行委員会 (斎藤)

H28/07/30 朝日地区まちづくり協議会連絡会議・活動発表会 (斎藤)

H28/08/04 柏崎市元気なまちづくり事業補助金・中間報告会 (大滝)

H28/08/07-08 総務省・地域運営組織に関する研究会現地視察 (斎藤)

H28/08/24 ふるさとづくり大会・実行委員会 (斎藤)

H28/08/25 総務省・地域運営組織に関する研究会 (斎藤)

H28/08/26 新潟県地域政策課・地域づくりに関する意見交換会 (斎藤)

H28/08/30 あさひまつり実行委員会 (忠)

H28/08/30 みらいず works みらせん実行委員会 (能登谷)

H28/09/06 みらいず works みらせん実行委員会 (能登谷)

H28/09/07 村上市観光協会・企画運営委員会 (能登谷)

H28/09/16 新潟県地域政策課・地域づくりに関する意見交換会 (斎藤)

H28/09/21 ふるさとづくり大会・実行委員会 (斎藤)

H28/09/28 道の駅朝日拡充基本計画検討会 (鈴木)

H28/09/28-29 総務省・地域運営組織に関する研究会現地視察 (斎藤)

H28/10/12 みらいず works みらせん実行委員会 (能登谷)

H28/10/17 新潟県地域政策課・地域づくりに関する意見交換会 (斎藤)

H28/10/23 あさひまつり (忠)

H28/10/25 みらいず works みらせん実行委員会 (能登谷)

H28/10/25 総務省・地域運営組織に関する研究会 (斎藤)

H28/10/27 雪シンポジウム (忠)

H28/11/08 ふるさとづくり大会・実行委員会 (斎藤)

H28/11/10 日沿道建設促進大会・意見発表 (斎藤)

H28/11/11 2016 にいがたワーク&ライフフォーラム実行委員会 (忠)

H28/11/13 ふるさとづくり大会 (斎藤・鈴木・能登谷)

H28/11/18 村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会 (忠)

H28/11/21 村上市観光協会・企画運営委員会 (能登谷)

H28/11/29 村上市社会福祉協議会・評議員会 (忠)

H28/11/30 長津地区・地域の話し合い促進事業 (斎藤)

H28/12/07 みらいず works みらせん実行委員会 (能登谷)

H28/12/15 あさひまつり実行委員会 (忠)

H28/12/16 総務省・地域運営組織に関する研究会 (斎藤)

H28/12/20 新潟県社会活動推進指針・検討委員会 (斎藤)

H28/12/22 村上市林間ワサビ生産拡大検討会 (忠)

H29/01/27 村上市観光協会・企画運営委員会 (能登谷)

H29/01/31 新潟県社会活動推進指針・検討委員会 (斎藤)

H29/02/01 いわふね青年会議所・新年会 (忠)

H29/02/03 総務省・地域運営組織に関する研究会 (斎藤)

H29/02/09 経営発達支援計画朝日地区活性化委員会 (忠)

H29/02/10 朝日地区活性化審議委員会 (鈴木)

H29/02/15 村上市林間ワサビ生産拡大検討会 (忠)

H29/02/15 村上市郷会会議 (鈴木)

H29/02/17 第 7 回地域再生大賞・表彰式 (忠・近・村山・大滝・加藤・斎藤・鈴木)

H29/02/20 村上市男女共同参画意見交換会 (村山)

H29/02/25 平野歩夢後援会・定例総会 (忠)

H29/03/06 村上市観光振興計画会議 (鈴木)

H29/03/12 高根フロンティアクラブ・設立 20 周年記念式典 (忠)

H29/03/24 村上市観光振興計画会議 (鈴木)

H29/03/27 村上市社会福祉協議会・評議員会 (忠)

H29/03/27 新潟県地域政策課・地域づくりに関する意見交換会 (斎藤)

H29/03/30 新潟県社会活動推進指針・検討委員会 (斎藤)

H29/04/09 柏崎市元気なまちづくり事業補助金・成果報告会 (大滝)

H29/04/18 新潟県地域政策課・地域づくりに関する意見交換会 (斎藤)

H29/04/22 NPO 活動助成・成果報告会 (斎藤)

H29/05/09 村上市観光協会 N E X T 戦略会議 (能登谷)

H29/05/11 あさひまつり実行委員会 (忠)

H29/05/12 柏崎市元気なまちづくり事業補助金・事前審査会 (大滝)

H29/05/13 柏崎市元気なまちづくり事業補助金・公開審査会 (大滝)

H29/05/16 村上市郷会会議 (鈴木)

H29/05/17 シン・シエンシャ会議 (斎藤)

H29/05/18 村上市観光協会・総会 (忠)

H29/05/24 新潟県地域政策課・地域づくりに関する意見交換会 (斎藤)

H29/05/30 地域おこし協力隊・顔合わせ会 (大滝・斎藤・鈴木・佐藤・能登谷)

H29/06/02 新潟県地域政策課・地域づくりに関する意見交換会 (斎藤)

H29/06/06 小規模多機能自治推進ネットワーク会議・研修会 (斎藤)

H29/06/07 小規模多機能自治推進ネットワーク会議・総会 (斎藤)

H29/06/07 総務省・地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する研究会 (斎藤)

H29/06/07 村上市男女共同参画計画策定委員会 (村山)

H29/06/08 あさひまつり運営委員会 (能登谷)

H29/06/12 村上市観光協会NEXT戦略会議（能登谷）
H29/06/20 新潟県社会活動推進指針・意見交換会（斎藤）
H29/06/21 村上市社会福祉協議会・評議員会（忠）
H29/06/24 いわふね青年会議所50周年記念式典（忠）
H29/06/27-28 総務省・地域運営組織・外部人材派遣（斎藤）

3) 法人運営に関する活動

①理事会（12回開催）

H28/07/19 第1回理事会（出席者7名／H27年度決算見込み・H28年度予算見込み等）
H28/08/14 第2回理事会（出席者5名／H28年度事業見込み等）
H28/09/14 第3回理事会（出席者4名・委任状出席2名／各種事業進捗状況報告等）
H28/10/11 第4回理事会（出席者6名・委任状出席1名／各種事業進捗状況報告等）
H28/11/14 第5回理事会（出席者6名・委任状出席1名／各種事業進捗状況報告等）
H28/12/06 第6回理事会（出席者4名・委任状出席1名／各種事業進捗状況報告等）
H29/01/10 第7回理事会（出席者7名／各種事業進捗状況報告等）
H28/02/07 第8回理事会（出席者6名・委任状出席1名／各種事業進捗状況報告等）
H28/03/07 第9回理事会（出席者5名・委任状出席2名／各種事業進捗状況報告等）
H28/04/17 第10回理事会（出席者7名／各種事業進捗状況報告等）
H28/05/09 第11回理事会（出席者6名／各種事業進捗状況報告等）
H28/06/13 第12回理事会（出席者6名・委任状出席1名／各種事業進捗状況報告等）

②三役会議

開催無し

③部会

開催無し

II 平成28年度決算報告

平成28年度 特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター 活動計算書

平成28年7月1日～平成29年6月30日

科目・摘要	金額(円)		増 減	備 考
	当初予算	決算額		
I 経常収益				
1. 受取会費	480,000	408,000	▲ 72,000	
正会員受取会費	120,000	111,000	▲ 9,000	
賛助会員受取会費	360,000	297,000	▲ 63,000	
2. 受取寄付金	5,000	16,800	11,800	
3. 受取助成金等	760,000	794,785	34,785	NPO活動助成/NPO応援ローン利子補給
4. 事業収益(特定非営利活動に係る事業)	14,973,320	19,246,224	4,272,904	
①住民活動支援	1,998,000	4,002,000	2,004,000	
②CB/SB支援事業	0	0	0	
③地域ツーリズム開発・プロモーション事業	4,552,000	2,612,942	▲ 1,939,058	
④地域づくり支援事業	8,023,320	10,785,791	2,762,471	詳細は別表1内訳書参照
⑤商品開発支援事業	200,000	113,967	▲ 86,033	
⑥情報発信事業	0	0	0	
⑦講座・研修会の企画運営	0	0	0	
⑧講師派遣・視察受入	200,000	1,731,524	1,531,524	
⑨その他	0	0	0	決算額は①～⑧へ算入
5. 事業収益(その他事業)	10,000	2,400	▲ 7,600	詳細は別表1内訳書参照
6. その他収益	1,000	1,000,434	999,434	
受取利息	0	6	6	
受取配当金	0	300	300	
雑収入	1,000	1,000,128	999,128	第7回地域再生大賞・賞金他
経常収益 計	16,229,320	21,468,643	5,239,323	
II 経常費用				
1. 事業費	14,073,482	18,317,988	4,244,506	
人件費	7,809,402	11,392,138	3,582,736	
その他経費	6,264,080	6,925,850	661,770	詳細は別表2及び財務諸表の注記を参照
2. 管理費	2,107,400	2,647,746	540,346	
人件費	542,400	680,418	138,018	
給与手当	542,400	498,300	▲ 44,100	事務局職員(経理担当者)
法定福利費		79,603	79,603	労働保険・児童手当拠出金
福利厚生費		102,515	102,515	
事業スタッフ報酬		0	0	
その他経費	1,565,000	1,967,328	402,328	
外注費	216,000	216,000	0	税理士決算業務
旅費交通費	550,000	701,205	151,205	職員業務移動交通費・事務局長交通費
理事会交通費	40,000	0	▲ 40,000	
事務用品費	5,000	34,394	29,394	
消耗品費	1,000	6,532	5,532	
印刷費	60,000	34,110	▲ 25,890	名刺/封筒
通信費	125,000	151,515	26,515	
使用料及び借料	0	1,050	1,050	
会議費	21,000	37,500	16,500	
保険料	0	37,620		NPO活動総合保険
接待交際費	0	15,400		
支払手数料	6,000	9,720	3,720	
諸会費	50,000	58,000		
租税公課	6,000	8,450	2,450	契約用収入印紙
支払利息	3,000	30,721	27,721	NPO応援ローン利息
法人税・住民税及び事業税	70,000	70,061	61	
消費税納付額	400,000	553,700	153,700	
雑費	12,000	1,350	▲ 10,650	
3. 予備費	48,438	0		
経常費用 計	16,229,320	20,965,734	4,736,414	
III 経常外収益				
1. 固定資産売却益		0		
2. 過年度損益修正益		0		
経常外収益 計		0		
IV 経常外費用				
1. 固定資産除却損		0		
2. 過年度損益修正損		0		
経常外費用 計		0		
経理区分振替額	0	2,400		その他事業会計→特定非営利活動に係る事業会計
当期正味財産増減額	0	502,909		
前期繰越正味財産額	932,190	932,190	0	
次期繰越正味財産額	932,190	1,435,099	502,909	

別表1 事業収益の内訳

種別	事業名	金額	備考	
助成	NPO活動助成	760,000	助成：新潟ろうきん福祉財団	
	NPO応援ローン利子補給	34,785	助成：新潟ろうきん福祉財団	
	計	794,785		
特定非営利活動に係る事業	①住民活動支援	若者チャレンジ応援プロジェクト	4,002,000	委託：村上市
	②CB/SB支援事業		0	
	③地域ツーリズム開発・プロモーション事業	村上グリーン・ツーリズム協議会事業	505,742	委託：村上地域グリーン・ツーリズム協議会
		朝日まほろば夢農園管理事業	1,405,200	委託：村上市／朝日まほろば夢農園管理組合
		出羽街道散策マップ原稿作成業務	702,000	委託：新潟県村上地域振興局
	④地域づくり支援事業	学校と地域を結ぶオープンセッション	400,000	事業負担金：村上市教育委員会
		青少年森林林業体験塾・企画運営	1,296,121	委託：新潟北部地域林業振興協議会
		地域人材育成業務委託	999,000	委託：村上市
		岩船米品質食味コンテスト支援業務	408,240	委託：新潟県村上地域振興局
		ワーク＆ライフフォーラム企画運営支援	1,462,320	委託：新潟ろうきん福祉財団
		小規模多機能自治セミナー	243,000	委託：新潟県
		大槌町CB実践塾企画運営	2,160,000	委託：大槌町／(株) 邑計画事務所
		小さな拠点・地域運営組織普及啓発事業	3,471,510	委託：内閣府／ランドブレイン(株)
大毎集落・地域の話し合い促進事業	345,600	委託：新潟県		
地域おこし協力隊募集業務	0	委託：村上市		
⑤商品開発支援事業	柏ビレジ・買物弱者支援プロジェクト	113,967	自主事業	
⑥情報発信事業		0		
⑦講座・研修会の企画運営		0		
⑧講師派遣・視察受入		1,731,524	自主事業	
計		19,246,224		
その他	物販事業	2,400	自主：書籍(マチダス2011、Life.mag、むムm)販売	
	計	2,400		

別表2 事業費の内訳

科目	非営利事業	補助金・助成金事業	その他事業	備考
(1) 人件費				
職員給料手当	5,736,000	0		事務局職員(常勤3名)
臨時雇賃金				
法定福利費	820,274	0		社会保険料事業主負担分
福利厚生費				
事業スタッフ報酬	4,631,864	204,000		事業従事者への報酬
人件費 計	11,188,138	204,000	0	
(2) その他経費				
外注費	1,128,400	0		外部協力者への再委託
謝金	501,720	0		講師謝金
研修費	31,500	1,500		研修会参加費
旅費交通費	1,591,806	10,920		職員移動旅費等
事務用品費	155,622	0		文具、業務用ソフト使用料等
消耗品費	349,358	15,931		日用品等、おしゃべりCafé茶菓代
備品購入費	403,740	0		OA機器、空家調査備品
材料費	125,800	0		体験プログラム材料費、物品仕入
印刷費	1,359,326	231,750		コピー代、チラシ等印刷
会議費	90,600	0		会場使用料等
通信費	376,509	134		メール便・郵送費・電話代等
使用料及び借料	29,600	3,900		会場使用料
水道光熱費	219,525	0		GT推進拠点経費等
新聞図書費	24,000	0		新聞購読費、図書費
広告宣伝費	26,136	0		チラシ新聞折り込み料
リース料	199,704	0		コピー機リース料
保険料	5,800	0		イベント保険
接待交際費	0	0		
諸会費	0	0		
支払手数料	9,217	108		
租税公課	0	0		
雑費	33,244	0		
その他経費 計	6,661,607	264,243	0	
事業費 計	17,849,745	468,243	0	

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価基準は、原価基準により評価方法は総平均法によっています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。
無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業費の区分は以下のとおりです。

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業					補助金・助成金 事業	その他の事業	
	住民活動 支援事業	地域ツーリス ム事業	地域づくり 支援事業	商品開発 支援事業	講師派遣・ 視察受入		物販事業	事業部門計
(1) 人件費								
職員給料手当	1,754,400	1,273,200	2,154,000	108,000	446,400	0	0	5,736,000
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	248,500	183,353	309,770	15,922	62,730	0	0	820,274
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業スタッフ報酬	0	350,000	3,511,864	0	770,000	204,000	0	4,835,864
人件費計	2,002,900	1,806,553	5,975,634	123,922	1,279,130	204,000	0	11,392,138
(2) その他経費								
外注費	0	0	1,128,400	0	0	0	0	1,128,400
謝金	75,000	0	426,720	0	0	0	0	501,720
研修費	0	30,000	1,500	0	0	1,500	0	33,000
旅費交通費	48,490	41,425	1,269,496	0	232,395	10,920	0	1,602,726
事務用品費	0	86,477	65,465	0	3,680	0	0	155,622
消耗品費	174,760	13,275	158,512	0	2,811	15,931	0	365,289
備品購入費	0	403,740	0	0	0	0	0	403,740
材料費	0	0	55,080	70,720	0	0	0	125,800
印刷費	39,590	273,947	1,045,789	0	0	231,750	0	1,591,076
会議費	0	2,600	88,000	0	0	0	0	90,600
通信費	66,830	289,750	5,913	14,016	0	134	0	376,643
使用料及び借料	6,200	0	18,400	0	5,000	3,900	0	33,500
水道光熱費	0	219,525	0	0	0	0	0	219,525
新聞図書費	0	24,000	0	0	0	0	0	24,000
広告宣伝費	0	0	26,136	0	0	0	0	26,136
リース料	0	199,704	0	0	0	0	0	199,704
保険料	0	0	5,800	0	0	0	0	5,800
支払手数料	0	216	9,001	0	0	108	0	9,325
雑費	33,244	0	0	0	0	0	0	33,244
その他経費計	444,114	1,584,659	4,304,212	84,736	243,886	264,243	0	6,925,850
事業費計	2,447,014	3,391,212	10,279,846	208,658	1,523,016	468,243	0	18,317,988

3. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下のとおりです。

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産	0	0	0	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	0	0	0
投資その他の資産	0	0	0	0	0	0
出資金	10,000	0	0	10,000	0	10,000
合計	10,000	0	0	10,000	0	10,000

4. 借入金増減内訳

借入金の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	0	6,300,000	6,300,000	0
長期借入金	0	0	0	0
合計	0	6,300,000	6,300,000	0

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書/事業費)		
事業スタッフ報酬	4,835,864	4,650,544
活動計算書 計	4,835,864	4,650,544
(貸借対照表)		
貸借対照表 計	0	0

平成28年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

平成29年6月30日時点

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産の部		I 流動負債の部	
(現金・預金)		短期借入金	0
現金	176,911	前受金	0
普通預金	2,760,047	預り金	140,420
(売上債権)		未払金	749,548
未収金	0	未払法人税	70,000
(その他の流動資産)		未払消費税	553,700
立替金	1,809	負債合計	1,513,668
仮払金	0		
流動資産合計	2,938,767	III 正味財産の部	
2 固定資産合計		前期繰越財産	932,190
出資金	10,000	当期正味財産増減額	502,909
固定資産合計	10,000	正味財産合計	1,435,099
資産合計	2,948,767	負債及び正味財産合計	2,948,767

平成28年度 財産目録

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

平成29年6月30日時点

科目・摘要	金額	金額
I 資産の部		
1) 流動資産の部		
現金預金		
現金	176,911	
普通預金 (村上信用金庫本店)	2,577,071	
普通預金 (新潟労働金庫村上支店)	182,976	
		2,936,958
未収金	1,809	
		1,809
出資金	10,000	
		10,000
流動資産の部 合計		2,948,767
2) 固定資産の部	0	
固定資産の部 合計		0
資産の部 合計		2,948,767
2 負債の部		
1) 流動負債の部		
預り金	源泉税/雇用保険料/社会保険料	140,420
		140,420
短期借入金	新潟労働金庫村上支店	0
		0
未払法人税		70,000
		70,000
未払消費税		553,700
		553,700
未払金	6月分給料	523,450
	職員移動費	45,425
	その他	111,189
	社会保険料	69,484
		749,548
流動負債の部 合計		1,513,668
2) 固定負債の部		
固定負債の部		0
		0
負債の部 合計		1,513,668
3 正味財産の部		
正味財産		1,435,099

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター
理事長 忠 隆司 様

私たちは、平成 28 年 7 月 1 日から平成 29 年 6 月 30 日までの会計監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

会計監査について、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検査した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく表示しているものと認める。

- (2) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

平成 29 年 7 月 18 日

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

監 事

梅田 久子



監 事

大滝 国志





平成28年度事業報告及び決算報告

【概要】平成29年度通常総会での説明資料

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

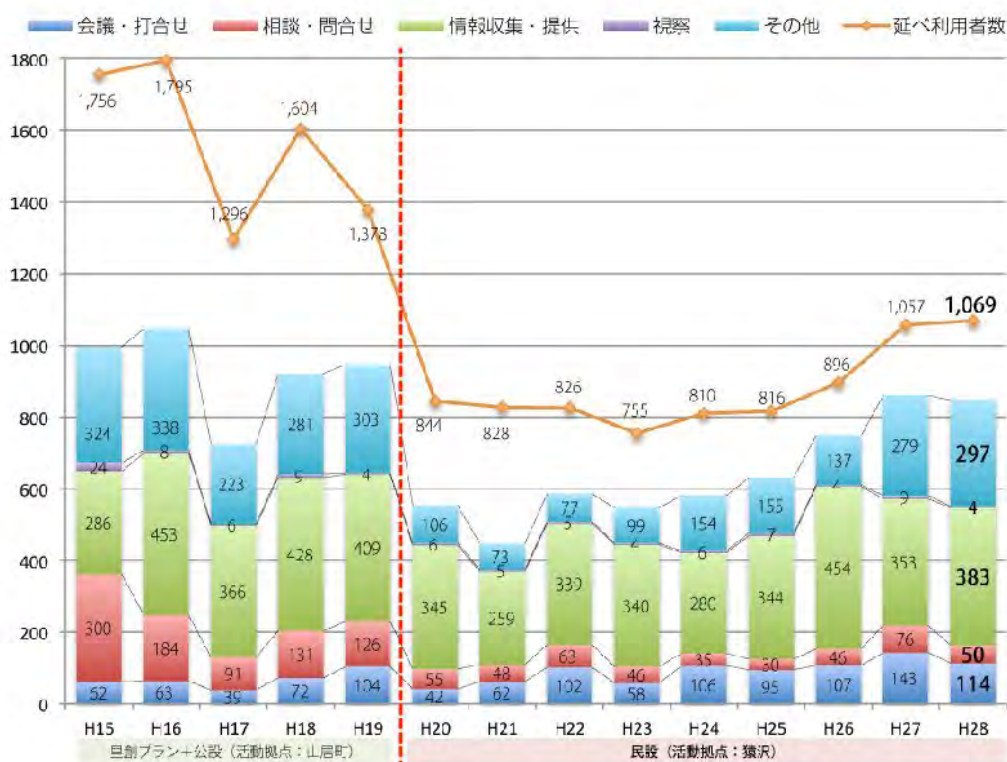
1. 住民活動支援

①住民活動支援窓口の開設 (自主事業)

前年度と同水準を維持。

利用件数：848件 (前年比12件↓)

利用者数：1,069人 (前年比12人↑)



1. 住民活動支援

②街なか拠点の運営協力（自主事業）

利用状況は前年度とほぼ同水準。気軽に利用できるコミュニティスペースとして定着。

	H26	H27	H28
利用者数	817人	1,874人	1,875人
利用団体数	6団体	15団体	11団体
利用回数	67回	130回	119回
(利用目的) コミュニティスペース	19回	37回	36回
各種教室	12回	22回	29回
イベント開催	7回	36回	34回
会議	4回	12回	16回
サークルでの活用	2回	7回	1回
視察対応	2回	0回	2回
その他	21回	16回	1回



1. 住民活動支援

③村上市若者チャレンジ応援プロジェクト（委託）



開催回数 **13** 回（前年度比93%）

延べ参加者数 **457** 人（前年度比82%）

成果①

おしゃべりCafeで出会った人が協働し、地域でイベントを開催するようになった。

- 自主イベントを主催した人数：11人（うち6人がミニイベント開催）
- 自主イベントの開催回数：87回（うち41件が木くぼりの家を利用）
- 協働イベントの開催回数：18回

成果②

おしゃべりCafeでスキルアップし卒業[※]していく人が出てきた。

- おしゃべりCafeを卒業した人数：14人（昨年度純利用者の12%）

※卒業

おしゃべりCafeに定期的に参加していたが、プライベートが充実するなどの理由で参加頻度が減ること。

成果③

おしゃべりCafeを開催した会場を活かし、地域でイベントが開催されるようになった。

- サテライト開催：5回（26年度4回）
- 開催会場
 - ・食の工房かがり火（山北地区）
 - ・農家民宿ひどこ（朝日地区）
 - ・口荒農保育園（荒川地区）
 - ・(株)新和建設シヨールーム（神林地区）



開催回数 **9** 回（前年度比75%）

延べ参加者数 **26** 人（前年度比50%）

農・食イベント2回/交流イベント3回/学び3回/情報発信1回

延べ参加者数 **73** 人（前年度比34%）

1. 住民活動支援

③村上市若者チャレンジ応援プロジェクト（委託）

- 旧荒島保育園（荒川地区） 開催回数 **8** 回

「ラベンダーママカフェ」

村上 ohana ネット主催、あらかわ地区まちづくり協議会共催で、2か月に1回開催される親子集いの場

「SSキッズ」

SSキッズ主催、土日に親子が集う場



旧荒島保育園の「ラベンダーママカフェ」

- 農家民宿ひどこ（朝日地区） 開催回数 **3** 回

「古民家でヨガと朝食」

村上市地域おこし協力隊主催。古民家の雰囲気を活かした交流の場



農家民宿ひどこイベント

- 食の工房かがり火（山北地区） 開催回数 **5** 回

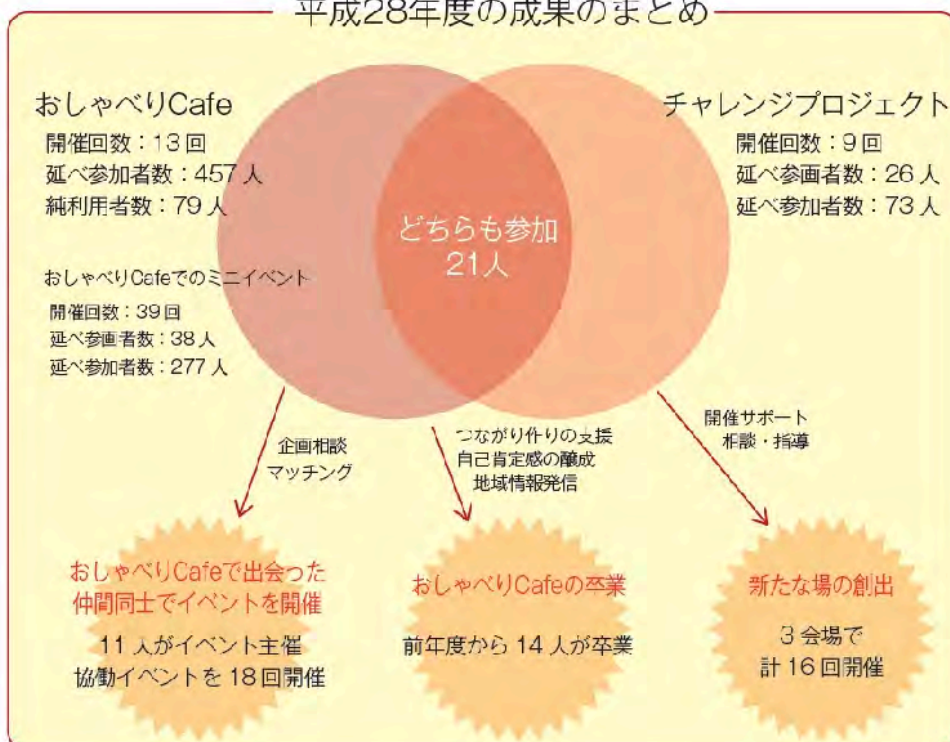
「あつがるママカフェ」

村上 ohana ネット主催、山北地区まちづくり協議会共催で、2か月に1回開催される親子集いの場

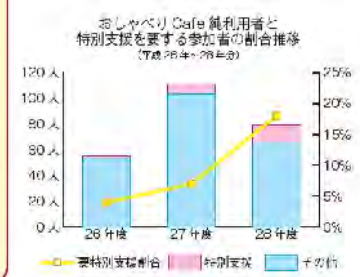
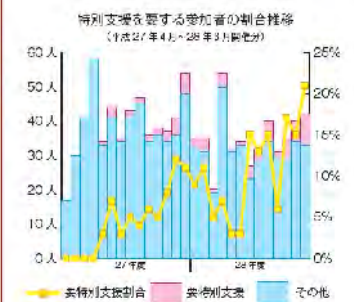
1. 住民活動支援

③村上市若者チャレンジ応援プロジェクト（委託）

平成28年度の成果のまとめ



順調に進む反面、
新たな課題も…



2. コミュニティビジネス支援

28年度は実施せず

3. 地域ツーリズムの開発・プロモーション

① 2組織の事務局を受託

- 村上地域グリーン・ツーリズム協議会
- 朝日まほろば夢農園管理組合

② 地域外でのプロモーション活動

- 首都圏でのプロモーションイベントの実施
開催回数：5回
参加者数：約1,000人
参画者数：36団体
- 商談会等への参加：2回

③ 研修会の開催（協力）

- 自然体験活動指導者養成講習会の開催協力
開催回数：1回
地域内での新規資格取得者：3名



3. 地域ツーリズムの開発・プロモーション

④ 地域内での交流プログラムの実施

- 村上市内の小学生を対象とした体験プログラム
参加者：約50名／参画者：6団体
- 朝日まほろば夢農園
のべ利用者数：350人・回
のべ交流イベント参加者数：79人

⑤ PRパンフの原稿作成

- 出羽街道ウォーキングマップの原稿作成



【地域ツーリズム関連の28年度実績】

事業を通じて生み出した交流人口 **1,479人**

(経年推移) H27：1,458人 ← H26：1,245人 ← H25：1,300人 ← H24：1,453人

※地域外でのプロモーション活動 (H28)：7回 (H27：7回/H26：2回)

※研修会の企画・参加 (H28)：3回 (H27：4回/H26：5回)

※のべ地域内参画事業者数 (H28)：42団体 (H27：33団体/H26：23団体)

4. 地域づくり事業のコーディネート

① 多様な主体が参加した交流機会の創出

- 学校と地域を結ぶオープンセッション（通算11回目）
- 2016にいがたワーク&ライフフォーラム in 新発田

【28年度実績】

開催回数：2回（H27：3回 ← H26：2回 ← H25：3回 ← H24：3回）

参加者数：421人（H27：285人 ← H26：183人 ← H25：238人 ← H24：216人）



② 農林業振興支援

- 青少年森林林業体験塾・企画運営
参加者数：15人（うち4人が林業関連職種に就職）
※H27：12人（うち4人 //）
H26：14人（うち4人 //）
- 村上市林業チャレンジ体験・企画運営（参加者：25人）
- 第3回「岩船米」品質食味コンテスト・実施補助



4. 地域づくり事業のコーディネート

③ まちづくり協議会・地域組織支援

- 地域づくり組織・活動発表会（自慢大会）の開催
開催回数：1回／参加者数：約150人
- 研修会等への講師派遣（村上市・関川村）
のべ派遣回数：23回
のべ参加者数：約700人（26組織）
（内容）まちづくり計画の見直し：6回
小規模多機能自治に関する勉強会：10回
住民アンケート&意見交換会：7回
- 村上地域・地区別人口動態データブックの作成
- 活動分析レポート作成（村上市17組織）



総支援件数 **24件** 総参加者数 **約850人**

住民自治の進化の必要性を認識し、住民意識・ニーズの可視化を目的に、H29年度に8地区で中学生以上の全住民を対象にしたアンケート調査が現在進行中。（総対象者数：約10,000人）



4. 地域づくり事業のコーディネート

④ 小規模多機能自治の普及啓発

●研修の企画・運営・講師派遣

県内市町村担当者セミナー（1回）	参加者数：61人
市町村職員研修（2回）	参加者数：約70人
民間団体等研修（8回）	参加者数：約300人

●地域運営組織に関する学習会への講師派遣

のべ派遣件数：12件（うち6件は外部講師を派遣）
のべ参加者数：338人

●東北日本海エリア中間支援ネットワーク会議の企画・運営

参加者数：13団体・23名

●第30回新潟県ふるさとづくり大会への協力

参加者数：約250名

【28年度実績】

総実施件数 **25**件 総参加者数 約**1,042**人



4. 地域づくり事業のコーディネート

⑤ 情報発信事業

●むらかみ元気マガジンの制作（3回）

⑥ 学校の総合学習支援

●村上中等教育学校5年生への出前授業（5回）

●金屋小学校ワークショップ・講師派遣（1回）

⑦ 東日本大震災復興支援

●大槌町コミュニティビジネス実践塾・企画運営



5. 商品開発・販路開拓支援

① 販路開拓支援

●村上地域の逸品を広めるための卸・仲介を実施

本格的な取引の前段階としての「お試し取引」を地域側のワンストップ窓口として仲介。（H28取引額：113,967円）

6. 情報受発信

●WEBページ

訪問者数：4,947／ページビュー：12,508／モバイルアクセス16.6%

●ブログ

訪問者数：6,307／ページビュー：39,565

●SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）

Facebook：780 いいね！

※おしゃべりCafe Facebook・いいね！288／Twitter・フォロワー数：404／LINE・友達数：57

7. 講師派遣・視察受入・会議出席

●視察受入：5件／のべ49人

●講師派遣：のべ45件 ※前述の「4. 地域づくり事業のコーディネート」に含めた分を除いた場合は、のべ20件

●会議等への出席：のべ75件

8. 物販

●地域づくりに関連する書籍の販売

28年度の総括

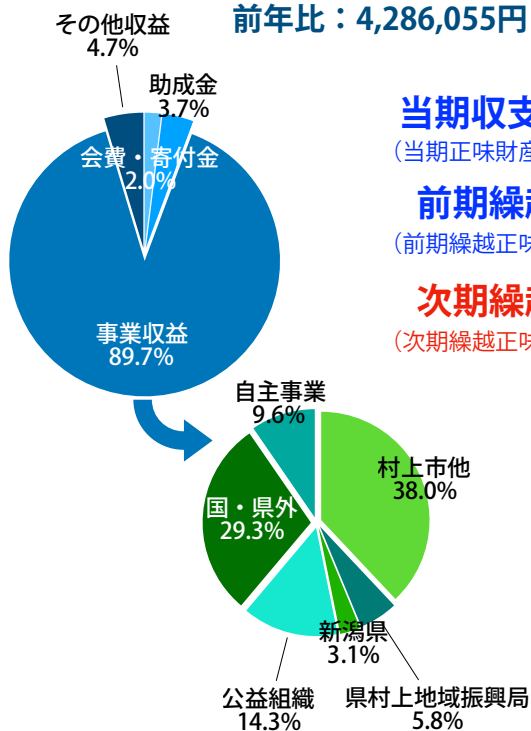
- おしゃべりCafeは着実に定着。**同様の取り組みが、地域内各地で様々な団体によって実施**されるようになり、**民中心の若者支援の仕組み**はかなり確立されてきた。その一方で、特別な支援が必要な人への対応という新たな課題にも直面した。今後は、**福祉分野の関係機関との連携・協働**が非常に重要である。
- 地域外での継続的なプロモーション活動が徐々に実を結び、地元産品の**販路開拓の兆し**（お試し取引）が芽生えるようになった。しかし、**限られた予算・マンパワーでは限界**があり、なかなか**誘客に結びついていない**ことが課題である。
- まちづくり協議会への支援活動が大幅に増加**。小規模多機能自治への理解浸透もかなり進み、具体的なアクションが各地で展開されるようになった。「住民自治の進化」に向けての歩みは、大きく前進した。

平成28年度決算

収入

経常収益：21,468,643円

前年比：4,286,055円↗



当期収支差額

(当期正味財産増減額)

前期繰越金

(前期繰越正味財産額)

次期繰越金

(次期繰越正味財産額)

支出

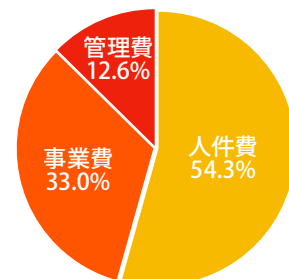
経常費用：20,965,734円

前年比：4,609,711円↗

+502,909円

+932,190円

+1,435,099円



平成28年度決算

収入の推移 (直近3カ年)

	H26	H27	H28
会費・寄付金	1,624千円 (10.1%)	428千円 (2.5%)	425千円 (2.0%)
助成金	2,000千円 (12.5%)	557千円 (3.2%)	795千円 (3.7%)
事業収益	12,411千円 (77.4%)	16,190千円 (94.3%)	19,249千円 (89.7%)
その他	1千円 (0.0%)	7千円 (0.0%)	1,000千円 (4.6%)
計	16,036千円	17,182千円	21,469千円

支出の推移 (直近3カ年)

	H26	H27	H28
人件費	8,006千円 (56.6%)	9,318千円 (57.0%)	11,392千円 (54.4%)
(内常勤職員分)	5,821千円 (48.6%)	7,169千円 (43.9%)	6,556千円 (31.3%)
(内事業スタッフ報酬)	1,465千円 (8.0%)	2,149千円 (13.1%)	4,836千円 (23.1%)
事業費	5,094千円 (29.3%)	4,814千円 (29.4%)	6,926千円 (33.0%)
管理費	1,853千円 (14.1%)	2,224千円 (13.6%)	2,648千円 (12.6%)
計	14,953千円	16,356千円	20,966千円